

## 「人権と福祉のまち」を推進するためのアンケート結果

問7 あなたは、隣近所の人とどの程度おつきあいがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 お茶のみや手助けなど家族同様に、頻繁に家の中まで行き来している  
161人 (11.9%)

2 外で会うと世間話や情報交換など、立ち話をするつきあいである  
667人 (49.3%)

3 町内会等の集まりで顔を合わすぐらいで、ほとんど話したことがない  
230人 (17%)

4 顔もよくわからず、ほとんどつきあいがない  
150人 (11.1%)

5 その他 57人 (4.2%) 6 無回答 87人 (6.4%)

隣近所の人とのつきあい方ですが、「家族同様につきあっている」人は11.9%の161人でした。「立ち話をする程度」の人が最も多く49.3%の667人となっています。「顔をあわす程度」「顔も知らない」といった人が、合わせて28.1%の380人いました。

問8-① 何かあったときに、地域住民どうして助け合う意識がありますか。

1 ある  
599人 (44.3%)

2 ややある  
374人 (27.7%)

3 あまりない  
204人 (15.1%)

4 ない  
90人 (6.7%)

5 無回答 85人 (6.3%)

地域の住民どうして助け合う意識は「ある」と答えた人が最も多く44.3%の599人になりました。「ややある」と答えた人は27.7%の374人でした。助け合う意識は「あまりない」「ない」と答えた人は合わせて21.8%の294人いました。

問8-② 「公民館・集会所などを福祉活動の拠点にしてはどうか」との意見がありますが、どう思いますか？

1 そう思う  
899人 (66.5%)

2 そう思わない  
292人 (21.6%)

3 無回答 161人 (11.9%)

地域の公民館や・集会所など身近な場所を福祉活動の拠点として賛成の人は66.5%の899人でした。公民館や集会所は福祉活動の拠点には向かないと考えている人は21.6%の292人でした。